

評議員会 議事録

日 時：2002年3月29日(金)

12時30分～13時30分

場 所：茨城大学 地域総合研究所3F 会議室

出席者：岡村，海部，加藤，小山，柴田，須藤，千田，高橋，舞原，牧島，吉井，家，池内，石黒，高津，小杉，谷口，長谷川，林，松田，渡部 以上21名

欠席者：井上，太田，高原，福井，木下，佐藤（勝），佐藤（修），中村，野本 以上9名

有効委任状提出者：井上，太田，高原，福井，木下，佐藤（勝），佐藤（修），野本 以上8名

他に理事会から郷田理事，大石理事，松原理事，立松理事，茂山理事，東條事務長が出席した。

議事に先立ち，議長に谷口義明氏を，署名人に吉井讓氏と舞原俊憲氏を選出した。

[報 告]

1. 前回議事録の確認（資料1）

郷田理事から前回議事録が報告され，誤植を修正の上承認された。

2. 2002年春季年会について

茂山理事より春季年会について報告があった。講演数は498件で，うち口頭講演は288件，ポスター講演は

計210件である。またPDLは6件である。28日に開催されたジュニアセッションでの発表数は23件であり，

会場には300名以上もの参加者があり大変盛況であった。記者会見には3社が参加し，新聞等に記事が掲載された。

3. 2002年春季通常総会について

郷田理事より本日夕方に開催される春季通常総会について報告があった。現時点における事前投票数は281と

なっており総会は成立する見込みである。また議案は2件であるがその後いくつかの案件について会員からの

生の声を聞く予定である。

[議 題]

1. 総会の運営方法に関する提案（資料2）

前回から継続している総会運営方法に関する検討結果を郷田理事が報告した。その結果，原案を承認の上，

今後の総会運営に当たることとした。

2. その他

(1) 欧文報告論文賞を選考する際に引用件数に関する資料を理事会に作成依頼した件について，郷田理事が

報告した。引用件数はADS等の検索機能を利用すれば容易に作成できるということを同賞選考委員会に

理事会から伝達する方針を評議員会として承認した。

(2) 前回の評議員会において理事会に対して要望が寄せられた会員名簿の毎年発行について郷田理事が検討

結果を報告した。発行の手間や費用がかかるため毎年発行は難しいので，理事会としてはこれまで通り

隔年発行としたい。これについて意見交換を行い、印刷版については従来通りとすることを確認した。

これに関連して渡部評議員から名前を入力すると電子メールアドレスを検索できる方策を検討して欲しい

という意見が出され、大石理事より技術的には可能であるとの返答があった。技術的な面を詰めた上で

次回の評議員会に諮り、総会での承認を得た上で実行する方針が確認された。また、名簿の有料化に

ついて検討することとした。

(3) 海部評議員から、ジュニアセッションや公開天文台などさまざまな天文普及活動の進展が著しく、

学会としてもそうした状況を踏まえて、新しいパワーも含めて教育普及活動の新たな方向を検討しては

どうかとの提案があった。これに関連して、天文教育委員会の現状、社会の変化と多種多様な要望への対応、

天文普及関係者の天文学会への期待、他学会の状況、大学や大学共同利用機関の普及活動への学会の「触媒」

的役割、など活発な議論が交わされた。天文教育委員会に新たな委員を加えることも含め、教育理事を中心に

今後の積極的対応を検討すること、また理事会において天文普及活動を顕彰する賞の新設について検討を

継続することとなった。

(4) 家評議員より、会員数の減少が著しいことに関する理事会の考えを質した。これに対し、松原理事から、

正会員から準会員への移籍が多いこと、また準会員の退会者が多いことが原因であり、減少防止に努めたい

との回答があった。

(5) 次回の評議員会の日程を2002年7月13日(土)と決定した。

2002年4月20日

議長 谷口義明 印

署名人 吉井 譲 印

署名人 舞原俊憲 印